

CANドライバ ライブラリ

CANハードウェア用ドライバ ライブラリ

CANドライバ ライブラリは、以下のベクター社のCANハードウェアへのアクセスを持つユーザー独自のCANアプリケーションを作成するPCプログラミング インターフェイスです。

- > CANcardXL
- > CANcaseXL
- > CANboardXL
- > CANcardX
- > CAN-AC2-PCI

特徴/優位性

プログラミング インターフェイスは、使用するCANハードウェアに依存しません。ボーレートおよびアクセプタンス フィルタの設定についても、同様に初期化されます。また、CANドライバ ライブラリで作成されたCANアプリケーションは、ベクター社の今後のハードウェアを考慮することなく使用できます (再コンパイルが必要になる場合があります)。必要に応じて、すべてのベクター社のツールと同様にCANハードウェア制御パネルを使用して、仮想CANチャンネルから実際のCANチャンネルへの割り当てを行うことができます。

機能

- > プログラミング環境
DLL は、Borland 社の C++, Borland 社の Delphi, Microsoft 社の Visual C++および Visual Basic でのプログラミングに使用可能です。Windows 98, NT 4.0, 2000, ME, XP オペレーティング システムがサポートされています。CANcardXL については、Pocket PC 2002 用 (IPAQ 用) のドライバもご用意しています。

- > マルチチャンネルの採用
CANドライバ ライブラリは、最大31チャンネル上でCANメッセージを送受信することができます。また、2つの仮想CANチャンネルは、ハードウェアを使用しないアプリケーションのテストに使用することができます。

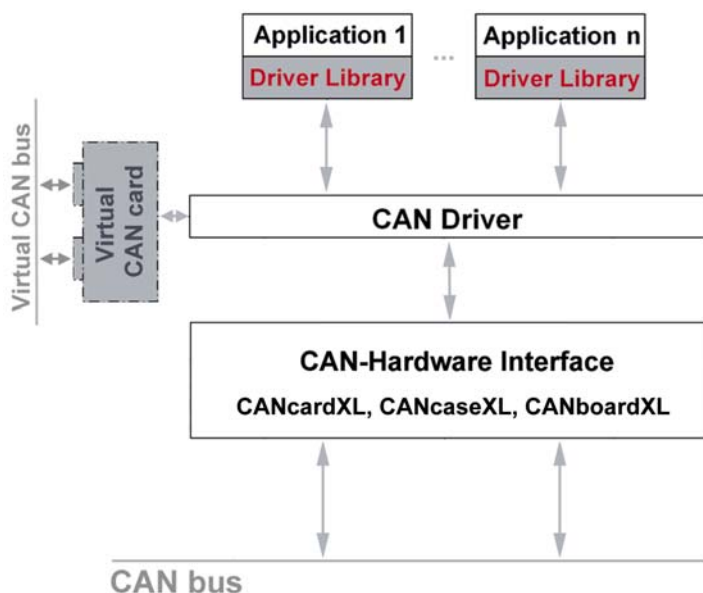
応用分野

- > 「CANドライバ ライブラリ」は、特定のCANユーザー アプリケーションを作成することができるため、CANベースの環境であればどこでも使用することができます。
- > CANドライバ ライブラリは、すべてのベクター社のツールと完全に互換性があるため、ハードウェア上の複数のCANアプリケーションに同時にアクセスすることができます。この方法により、CANalyzerを別のユーザー独自のアプリケーションと平行使用して、バス トラフィックを解析することもできます (マルチマスター機能)。
- > 複数のアプリケーションが同時に問題なく動作するように、最新の32ビット スレッド同期機能がサポートされています。

製品に含まれるもの

- > マニュアル
- > Windows 98, NT 4.0, 2000, ME, XP および IPAQ Pocket PC 2002 用の 32 ビット DLL

CANドライバ ライブラリは、CANcardXL、CANcaseXL、CANboardXL、CANcardXおよびCAN-AC2-PCIに同梱されています。



**CAN ドライバ ライブラリを使用した CAN
ハードウェアへのアクセス**